

立ち寄りスポットモデルコース

篠山の観光情報があります。

1 大正ロマン館



徒歩2分



1923年（大正12年）に建てられた旧篠山町役場として使われていた、モダンな洋風造りの建物です。今は、丹波篠山の特産物販売とレストランを併設しており、観光に来られた方の休憩所として利用されています。店内には中庭があり、開放感のあるテラス席が特に人気です。



7 河原町妻入商家群



河原町には、西坂家住宅（市指定文化財）や川端家住宅（市指定文化財）が残されています。かつて醤油屋を営んでいた西坂家は、江戸期の妻入商家の姿を今に伝える貴重な建造物です。また川端家は明治・大正期の町家で、約713坪の敷地に平入主屋と土蔵4棟、離れ、納屋などが当時の姿のまま残る貴重な建造物です。
（※共に内部は非公開）

2 青山歴史村



版籍奉還後に建てられた旧篠山藩主青山家の別邸です。全国的にも珍しい漢学書関係の版本1200枚、藩政始末略、印判、ねずみ草子絵巻などが展示されています。

篠山の町並みが一望

3 篠山城跡



徒歩3分



城の縄張は、築城の名手であった藤堂高虎が行いました。笹山という小山を利用した一辺約400mの方形の平山城で、堀を二重に廻し、外堀の三方に出入り口として馬出を設け、防御に徹した城構えとなっています。江戸時代を通して譜代大名の松平三家8代、青山家6代の居城となりました。

6 特産館ささやま



JA丹波ささやま直営店の特産館ささやまには、地元の特産である黒大豆、山の芋、丹波篠山コンヒカリ、丹波篠山牛、丹波栗、丹波茶などが販売されています。この特産品を使ったレストラン「味の郷土館」では、篠山牛焼肉セット、篠山牛ステーキセット、デカンショ御膳、山かけとろろ御膳などのおすすめ料理がいっぱいです。

徒歩12分

5 ほろ酔い城下蔵



徒歩2分



1797年（寛政9年）に創業した歴史ある酒蔵です。築200年を超える鳳鳴酒造の本社は国登録文化財となっており、ショップや見学施設として活用されています。実際の酒製造は市内の味間蔵に統合されていますが、昔ながらの酒造りの道具や洗米場、麴室など古い現場がそのまま残されています。



昔の道具が残されています。

4 大書院



篠山城跡には、篠山城内最大の建造物であった大書院は1944年（昭和19年）に焼失しましたが、2000年（平成12年）に学術調査にもとづき正確に復元されました。

徒歩5分



篠山城跡は、石垣とお堀の風景が撮影のスポットとしてカメラマンに人気です。春夏秋冬で姿を変える石垣を散策してください。



日本六古窯のひとつに数えられる丹波立杭焼きの窯元があることでも知られています。丹波焼の里までは車で20分ほどかかります。